



上位入賞には高度な数理的発想力必要

情報

る。一次予選・二次予選・本選はいずれもオンラインで開催される。本選上位者を集める。一次予選・二次予選・本選以降ではC++のみが使用できる。

国際情報オリンピック（IOI）は中・高生を対象とした世界最高峰のプログラミングの国際大会である。毎年、IOIには約90の国・地域から300人以上の選手が参加している。2006（平成18）年より日本は毎年4人の選手を派遣しており、2018（平成30）年には日本でIOIを開催した。

国内大会である日本情報オリンピック（JOI）は、複数の段階からなる。一次予選は9～11月にかけて全部で3回開催され、一度でも基準点をクリアすれば二次予選に進出できる。二次予選の上位者は本選に進出でき、本選の上位者にはメダルが授与される。



昨年開催された国際情報オリンピック・インドネシア大会

情報オリンピック日本委員会では、裾野を広げる活動やジェンダーギャップの解消にも積極的に取り組んでいる。プログラミング初心者を対象とした「JOI入門講座」や、アルゴリズムの基礎を学ぶセミナーをオンラインで開催している。2021（令和3）年からは、JOIと並行して日本情報オリンピック女性部門（JOIG）を開催し、上位4人をヨーロッパ女子情報オリンピック（EGOI）に派遣している。情報系で活躍する女性のインタビュー記事を公開したり、情報オリンピックに挑戦する女子高校生を主人公にした漫画冊子を配布したりするなどの広報活動の成果もあり、近年では女性参加者数は大きく伸びている。今後の活躍が楽しみである。（伊藤哲史・一般社団法人情報オリンピック日本委員会・理事）